

自分たちのまちは、自分たちでつくろう！

# 地域ぶんけんくれは

くれは地域コミュニティ推進協議会

令和8年  
春号

\* No. 18 \*



(くれはちゃん)

呉服小学校区エリア 室町 桃園 姫室 呉服 満寿美 宇保八王寺 アルビス池田  
池田市のデータ くれは校区の人口・世帯数 人口：11,562人 世帯数：5,340世帯

くれは地域コミュニティは、今年で20年目を迎えます。

この節目にあたり、地域と学校、子どもたちとのこれからについて、地域コミュニティ推進協議会・渡邊会長が、呉服小学校・松村校長、PTA・小山会長にお話を伺いました。

## 今年度のくれは地域コミュニティ推進協議会と呉服小学校との活動と、今後の課題について



### 渡邊会長

地域コミュニティは“**地域の子どもたちを中心に考えること**”が基本だと思っています。

その中で、今年度は『くれはまつり』、『防災訓練』、『花いっぱいプロジェクト』を、子どもたちと一緒に開催しました。特に印象的だったのは、子どもたちの積極的な姿です。『くれはまつり』では、6年生がブースを出店し、『防災訓練』では、5年生が地域の方に災害時の対応を伝え、『花いっぱいプロジェクト』では、4年生が地域や保護者の方と花の苗を育て、地域内へ移植し、環境緑化活動を行いました。



防災訓練(5年生が地域の方に説明)

### 小山会長

保護者としても、子どもたちが地域の方と積極的に関わっている様子を見て、とても心強く感じました。

### 松村校長

『くれはまつり』は、企画運営が1本化されたことにより、スムーズに進められました。過去には、同日で午前にはPTA主催の『くれはまつり』、午後には、地域コミュニティ主催の『くれはフェスティバル』として、分けて開催していた時期は、違和感を感じていました。子どもたちにとっては、ひとつにした方がいいのではと考えていました。

## 地域コミュニティの活動は充実、でも“あまり認知されていない”



### 小山会長

正直に言うと、PTAの中でも、地域コミュニティ推進協議会の活動をよく知らない人が多くいました。

地域や子どもたちのために活動していただいているのにも関わらず、あまり認知されていないことを残念に思います。まずは存在や活動を知ってもらうこと、アピールする機会は必要ですね。

### 松村校長

くれは地域コミュニティは、地域や子どもたちのために、年間10以上の事業を行っていただいています。十分に活動いただいていますので、もっと存在を“**アピールし、知っていただくこと**”が鍵ですね。

以前にはPTAが地域の方、子どもたちと一緒に取り組んだ『安全パトロール』を開催しました。

このように地域コミュニティの方々もご参加いただき、子どもたちと直接対話する機会を増やしたいですね。



花いっぱいプロジェクト

## 「やらされている感」の意識をどう変えるか



### 渡邊会長

『くれはまつり』を通して感じたことは、もっと地域の方が、学校やPTAの活動に入りこんだ方がいいのではと、もっと地域一体となり、子どもたちを盛り上げる必要があるのではないかとことです。地域の方の中には、“**やらされている**”と捉えている方もいると感じました。本来は自分たちの地域のために取り組む、主体的な意識が必要です。

### 小山会長

保護者も同じです。朝、自ら登校時にパトロールをしてくださっている方がいます。その存在を、どれだけの方が知っているのでしょうか。まずはそのことを知り、感謝すること。それが“やらされている”という意識を変える第一歩だと思います。

### 松村校長

“**自分ごとにする**”という意識が大事ですね。準備や片付けも、誰かがやるのではなく、地域みんなで支えるかたちが理想です。



## 文部科学省が推奨する『コミュニティスクール』について



### 渡邊会長

『コミュニティスクール』とは、地域と学校が協働して学校運営に関わる仕組みです。くれは地域の方々には、それに対する意識に温度差を感じています。

### 松村校長

年に3回ほど、学校協議会を開催し、地域の方々とは直接対話する機会を作っています。私は、くれは地域はすでにその土台ができていると考えています。そのため、もっと具体的にどの学年の子どもたちと、何を取り組んだかを、地域内へアピールしていくべきだと考えます。

そこで、成功事例として挙げられるのが西宮市です。

地域ごとに子どもたちへどのようなことが必要か、地域でできることは何かを明確にし、地域全体で向き合っています。くれは地域コミュニティの活動は充分だと思うので、あとは**“この子どもたちに何ができるか”**を考え、子どもたちと一緒に顔を合わせる機会をつくるだけで、さらに充実したかたちになると思います。

### 小山会長

P T A内では、コミュニティスクール自体、ほぼ認知されていない状態でしたが、私自身は他の市から来たため、その違いをより感じ、くれは地域は充実されていると感じています。もっと地域の方に活動を知ってほしいです。



左から 小山会長、松村校長、渡邊会長

## 吹奏楽が育んだ地域の絆



### 渡邊会長

今回話していて感じたのですが、コミュニティスクールが確立している背景には、くれは地域には、吹奏楽の影響が大きいのではないかと思います。

### 小山会長

保護者の中にも、地域の方には、卒団生がいたり、今でも演奏を聴きに来てくださいます。

### 松村校長

呉服小は吹奏楽に誇りを持っています。2年後の地域移行においては、呉服小吹奏楽部は独立させる方向です。消滅させるわけにはいかない。ただし、呉服小校区以外の子どもたちも入部可能になることで、地域という見方が難しくなり、新たな課題も考えられます。

## 20年目からの地域コミュニティに期待すること



### 渡邊会長

20年の節目に、改めて安全・防災・通学路などの課題を整理し、解決に向けて話し合いたいです。

### 小山会長

地域コミュニティから子どもたちに伝えたいことがあれば、積極的に発信してほしいです。そうすることで、子どもたちから保護者へ、認知もより高まると思います。

### 松村校長

今の活動は十分なため、感謝しています。あとは、今の活動に対して、さらにどうすればもっと良くなるかを考えていくことです。

主体的に一緒につくる くれは地域へ。

子どもを中心に、学校・地域・保護者・企業が顔を合わせる機会を増やす。  
そうすることで、くれは地域のつながりがもっと強くなっていくのだと考えます。

## 令和7年度にはこんな事業を実施しました。

- ① 青パト車による地域巡回活動
- ② 姫室室町会館へ折り畳み椅子の購入
- ③ 老朽化した掲示板の修理
- ④ 室町会館にあるAEDの部品の取り替え
- ⑤ くれは地域コミュニティで設置した街路灯の電気使用料等
- ⑥ 呉服小学校付近のカーブミラーの設置(安全な登下校対策)
- ⑦ 吹奏楽へのクラリネット購入
- ⑧ 市民レクレーションへの支援
- ⑨ 地域コミュニティ誌の発行
- ⑩ 校区内合同防災訓練
- ⑪ くれはまつりの開催
- ⑫ 呉服会館での地域コミュニティの拠点施設管理運営(10月から休館となる。)
- ⑬ 児童の登下校の安全確保のためのグリーンベルトの設置
- ⑭ こども服の無料交換会(リユース事業)
- ⑮ 呉服小学校などでの花いっぱい運動
- ⑯ 呉服小学校と地域をつなぐ備品の購入
- ⑰ キッズランドの遊具などの購入



こども服無料交換会



くれは地域コミュニティ推進協議会にご興味のある方は  
池田市役所コミュニティ推進課まで  
お問合せ下さい。

TEL.072-754-6641

発行責任者：会長・渡邊千芳